

責任者	言語コミュニケーション文化研究科委員長	作成部局	言語コミュニケーション文化研究科
-----	---------------------	------	------------------

2021年度に向けた教育研究目標

【A票:教育研究目標1】

(タイトル)

4領域の垣根を低くするカリキュラム改編

(狙い内容)

前期課程では、言語科学領域、言語文化学領域、言語教育学領域、日本語教育学領域のうちから一つの研究領域を選ぶが、言語コミュニケーション文化を横断的・総合的な研究を可能にするために、現行よりさらに自由度を高めた柔軟なカリキュラムに改編する。

1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

学生の研究テーマが所属領域のみの内容に偏らずに、横断的・総合的に研究が可能なカリキュラムを実現することにより、多種多様な研究が可能となる。

2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

現行のカリキュラムでは、所属領域の研究科目を中心に履修しなければならず、横断的に研究したい学生のニーズとのギャップがあるため。

3. 達成度評価

評価指標	学生のカリキュラム(科目履修)に関する満足度 ※修了者アンケートにて聴取予定	評価尺度	A:修了生の8割が「満足」している。 B:修了生の6割が「満足」している。 C:修了生の4割が「満足」している。 D:修了生の2割以下しか「満足」していない。
------	---	------	--

4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
不明 (2016年3月聴取予定)	(カリキュラム改編前のため、参考値とする)	(修了生が現行カリキュラム履修者のため、参考値とする)	修了生の6割が「満足」している	修了生の8割が「満足」している	修了生の8割が「満足」している	修了生の8割が「満足」している

【A票:教育研究目標2】

(タイトル)

英語教員対象1年制修士学位コースの設置

(狙い内容)

すでに実績を持つ英語教員が、短期間で高度な専門的研究を行い、同時に教育能力のさらなる向上を達成するために、英語教員を対象に1年で修士学位を取得可能なコースを設置する。

1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

2017年度を目途に「英語教員対象1年制修士学位コース」を設置し、毎年1名以上の修了者がいる。

2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

教育のグローバル化が進む中、中学校・高等学校の英語教員だけでなく、小学校や各種の学校の英語教員にも、教授能力の高度化が求められている。
このような社会の要請に対応できる英語教員を養成するために、1年で修士学位が取得可能なコースを設置する。

3. 達成度評価

評価指標	(当該コース設置後)毎年1名以上の修了者がいること	評価尺度	A:1名以上の修了者がいる B:1名以上の入学者がいる C:1名以上の受験者がいる D:受験者がいない
------	---------------------------	------	--

4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
コース概要検討中	(コース設置決定、入試広報展開、入試実施)	1名以上の受験者がいる	1名以上の合格者がいる	1名以上の入学者がいる	1名以上の入学者がいる	1名以上の修了者がいる

【A票:教育研究目標3】

(タイトル)

前期課程入試制度のあり方の検討

(狙い内容)

前期課程の新入生の人数およびバックグラウンドを精査し、入学定員を充足できない状況が続く場合、入試制度のあり方を検討し、入試制度改革を実行する。

1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

入学定員(30名)を充足している。

2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

近年、前期課程では、入学者数が入学定員(30名)を下回っている状態が続いている。

また、特定の領域に入学者が偏る傾向がある。

2017年度に改革カリキュラムを導入することにより、入学者の増加を目指しているが、改革カリキュラム導入後の入学者の動向を精査し、入学定員を充足できない状況が続くようであれば、入試制度のあり方を検討し、入試制度改革を実行する。

評価指標	入学定員の充足状況	評価尺度	A: 入学者数が30名以上
			B: 入学者数が25名以上
			C: 入学者数が20名以上
			D: 入学者数が20名未満

4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	(2017)年度	(2018)年度	(2019)年度	(2020)年度	2021年度
25名	(入試実施回数の検討)	(入学者の質量精査)	(入学者の質量精査)	(入試制度のあり方検討)	30名 (場合により、入試制度改革実施)	30名